



郡山の町から矢田筋を東に歩くと、佐保川の郡界橋の袂に出る。
ここは町外れの分かれ道、分かれ道には道しるべのお地蔵様が居て、旅立つ人の無事を祈って道案内をされたのです。
まっすぐ行くと安産祈願の帯解寺、左に行くと東大寺二月堂の観音さん。
昔の人がそのお地蔵さまの回りに魔よけの枳殻（からたち）を植えたことから、枳殻（きこく）地蔵と呼ばれるようになったとか、
戦争の時には郡山の人は、無事に帰国（きこく）出来るようにとこのお地蔵さまに祈って出征したとか、
今も1本の枳殻の木がお地蔵さんの後ろに植えられていて、春には白い花が咲き、秋には黄色い実をつけて、僕たちに島倉千代子を思い出させてくれるのです。

（枳殻地蔵 郡山）

奈良時代に行基菩薩が道しるべに建立され、禍を防ぐために周りに枳殻を植えたのだとか（説明板に）